

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/08/10

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.07	0.04
JPY/THB	0.2441	-0.0001
USD/JPY	143.73	0.35
EUR/THB	38.48	0.10
EUR/USD	1.0974	0.0018
USD/CNH	7.229	-0.008
SGD/THB	26.03	0.04
AUD/THB	22.90	-0.02
USD/INR	82.82	-0.01
USD Index	102.49	-0.04

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.419	0.000
10Y (THB)	2.621	0.013
5Y (USD)	4.137	0.026
10Y (USD)	4.008	-0.014

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,915.4	-8.7
WTI (Oil)	84.40	1.48
Copper	8,397.5	50.0

Stock

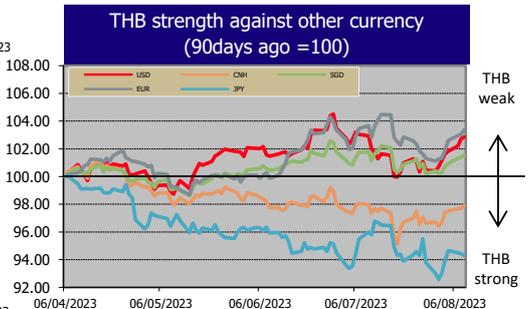
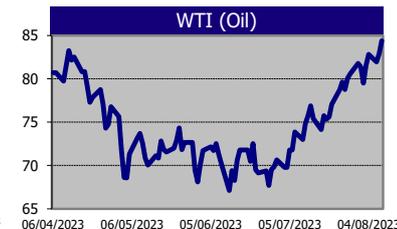
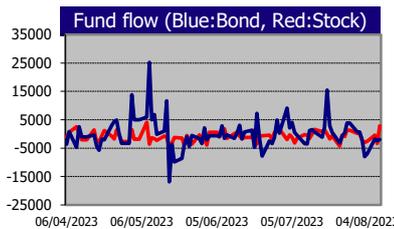
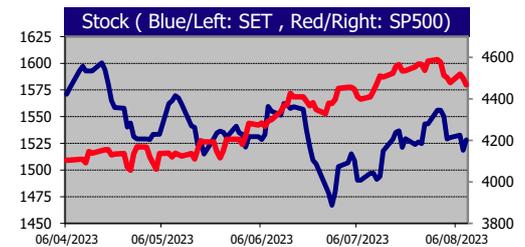
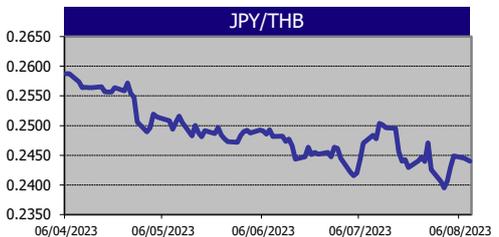
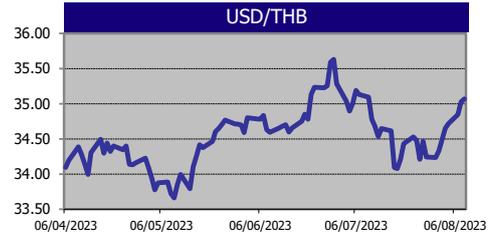
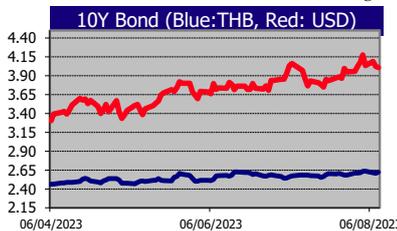
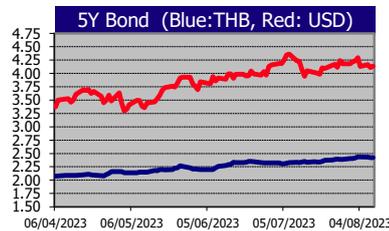
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,528.30	9.86
NIKKEI (JP)	32,204.33	-172.96
DOW (US)	35,123.36	-191.13
S&P500 (US)	4,467.71	-31.67
SHCOMP (CN)	3,244.49	-16.13
DAX(GER)	15,852.58	77.65

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	2,805	6153.0
Bond net flow	(1,997)	346.5

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

●昨日のドルパーツは小幅に上昇。35パーツちょうど付近で取引を開始。朝方発表された中国7月CPIは前年同月比▲0.3%と2021年2月以来のマイナスを記録。これを受けて同国景気刺激策への期待感等からドル人民元が下落する動きとなり、ドルパーツも連れる展開。一時34パーツ台後半を付ける場面を見た。なお、同日開催されたタイ中銀のセミナーでは、「パーツはドルと人民元の動向に起因し、他の通貨よりもボラタイルな値動きとなっている」との見方が示されている。海外時間、欧州株式市場が反転上昇を見せる中、翌日の米7月CPIの発表を控えた調整もあり、ドルパーツは35パーツ台前半まで値を戻し、結局35.07レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

●昨日のドル円は小幅に上昇。143円台前半で取引を開始すると、翌日の米7月CPIの発表を控え、同水準で狭いレンジでの推移が継続。ただ、海外時間に入ると、欧州株の堅調な推移を横目に円の売り戻しが強まり、ドル円もじりじりと上昇。終盤にかけて143円台後半まで上昇すると、そのまま143.73レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

本日は米国時間に発表される米7月消費者物価指数(CPI)が市場の注目材料。米物価指標は昨年より鈍化傾向が続いており、前回6月CPIの結果も、ヘッドラインが+3.0%(5月+4.0%)、食料品とエネルギーを除いたコアも+4.8%(同+5.3%)と伸び率が鈍化。その結果について、パウエルFRB議長は7月FOMCにて「歓迎すべき」と評価しつつも「単月の結果で判断することはない」とも言及していただけに、次回9月のFOMCに向けて、7月、8月の数字がどうなるかには注目が集まる。もとより先物市場の金利は米国の年内追加利上げを3割程度しか織り込んでいないため、今回の米CPIの結果については弱い場合よりも強く出た場合のほうが影響は大きそうで、備えるとしたら米金利上昇、ドル上昇サイドか。タイ国内では、タイ貢献党による連立政権樹立に向けた動きが見え始めているが、16日以降に予定されている首相指名投票で政情が落ち着くかは依然として不透明な状況。ドルパーツは今年の高値圏となる35近辺で今しばらくもみ合う状況を予想する。(吉田)